

記入例

様式第1号

※この様式は(裏面)と
両面コピーをして
ご提出願います

(表 面)

指定給水装置工事事業者指定申請書

仙台市水道事業管理者 様

ゴム印でも可

〇年〇月〇日

押印は
不要

申請者 氏名又は名称 〇〇水道工事店
住所 〒〇〇〇 - 〇〇〇〇
〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇 - 〇
代表者氏名 〇〇 〇〇
TEL〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇 FAX〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇

水道法第16条の2第1項の規定による指定給水装置工事事業者の指定を受けたいので、同法第25条の2第1項の規定に基づき次のとおり申請します。

指定番号：〇〇〇〇

役員（業務を執行する社員、取締役又はこれらに準ずる者）の氏名	
フリガナ 氏 名	フリガナ 氏 名
<u>代表取締役</u> マルマル 〇〇 マルマル 〇〇	<p>法人：登記事項証明書に記載してある役員の氏名を記入 個人：記入しない</p> <p>新規：記入しない 更新：記入する</p>
<u>取締役</u> マルマル 〇〇 マルマル 〇〇	
<u>//</u> マルマル 〇〇 マルマル 〇〇	
<u>//</u> マルマル 〇〇 マルマル 〇〇	
事業の範囲	例： <u>給排水管の設計・施工</u>
機械器具の名称、性能及び数	別表のとおり

法人：登記事項証明書に記載してある役員の氏名を記入
個人：記入しない

新規：記入しない
更新：記入する

法人：登記事項証明書の「目的」欄に記載があるものから、水道に関するものを抜粋して記入
個人：実施する事業の内容を記入
(例：管工事業 等)

※この様式は（表面）と
両面コピーをして
ご提出願います

記入例

（裏面）

当該給水区域で給水装置工事の事業を行う 事業所の名称	<u>〇〇水道工事店</u>
上記事業所の所在地	事業所の住所 <u>〒〇〇〇 - 〇〇〇〇</u> <u>〇〇市〇〇区〇〇町〇丁目〇 - 〇</u> TEL <u>〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇</u> FAX <u>〇〇〇 (〇〇〇) 〇〇〇〇</u>
上記事業所で選任されることとなる給水装置 工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
<u>マルマル マルマル</u> <u>〇〇 〇〇</u> <u>マルマル マルマル</u> <u>〇〇 〇〇</u>	<u>第〇〇〇〇〇〇〇号</u> <u>第〇〇〇〇〇〇〇号</u>
当該事業所で行う 事業所の名称	
上記事業所の所在地	事業所の住所 TEL () FAX ()
上記事業所で選任されることとなる給水装置 工事主任技術者の氏名	給水装置工事主任技術者免状の交付番号
<p>実際に事業を行う事業所が2箇所以上ある場合のみ記入 （※選任する主任技術者は他の事業所と別の者でなければならない） 3か所以上ある場合は、この面をコピーして記入し添付する</p>	

主任技術者の氏名・フリガナ
主任技術者の免状番号を記入

実際に事業を行う事業所の名称、事業所の
住所、電話・FAX 番号を記入
※表面の「申請者」と同じ内容であっても
記入する

記入例

別表

機 械 器 具 調 書

記載している器具は記入例です
機能を有していれば、これ以外の器具でも可
「種別」毎に最低1器具の記入が必要
(保有している器具を全て書く必要はありません)

〇年〇月〇日 現在

種 別	名 称	型式、性能	数 量	備 考
管の切断用の機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>金切りのこ</u> ・<u>パイプカッター</u> ・<u>パイプ万カ</u> ・<u>バリ取り工具</u> 	<u>固定式鋸弦</u> <u>RB-80-CV</u> <u>(13~150 mm用)</u>		
管の加工用の機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>パイプベンダー</u> ・<u>やすり</u> ・<u>パイプねじ切り器</u> 	<u>1/2~1 1/4 インチ</u> <u>中目</u> <u>N-100A</u>		
接合用の機械器具	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>トーチランプ</u> ・<u>パイプレンチ</u> ・<u>スパナ</u> ・<u>電気ヒーター</u> 	<u>ガスボンベ式</u> <u>13~100 mm</u>		
水圧テストポンプ	<ul style="list-style-type: none"> ・<u>テストポンプ</u> 	<u>T-50K-P</u> <u>(手動式)</u>		

表下の(注2)のとおり、機械器具保有状況を確認するため、記載した機械器具の全ての写真、画像等を申請時にご提示願います(提出は不要ですが、郵送の方はその場で確認できないため、写真をお送りください)

※記憶媒体から水道局のパソコンで確認することはできません

その場で確認できるものをご持参ください(例:カメラ、スマートフォン、写真等)

(注1) 種別の欄には「管の切断用の機械器具」、「管の加工用の機械器具」、「接合用の機械器具」、「水圧テストポンプ」の別を記入すること。

(注2) 上記記載の機械器具保有状況確認のため、写真または画像を提示すること(提出は不要)。